

令和5年1月31日  
羽生市立手子林小学校

## I 教育課程・授業関係

- ①もっと新しい取り組みを積極的に入れていくような学校になって欲しい。例えばスポーツ選手等を招待して集会などで話しを聞く機会のある小学校も多く、夢に向かうきっかけとしてとても良い取り組みだと感じたので。
- 現在、コロナ禍ということが原因で、呼びたくても呼べない、行きたくても行けないという、学校側と企画側双方に問題があり、実施に難しい状況がここ数年続いています。そのような中でも、2年前には劇団による演劇（全学年対象）、昨年度は「新日本フィルハーモニー交響楽団」による演奏会（全学年対象）、本年度は「夢先生（冬季オリンピックボブスレー出場選手）」の講演（5年生対象）を実施しました。いずれにしても、いただいたご意見と学校の思いは同じで、今後も1回でも多く「夢」を追い求めている方、実現した方をお呼びしての集会等を企画していきたいと思っています。

## II 学校行事関係

- ①業間、昼休みの外遊びをやれる学年が分けられているようですが、何対応でしょうか。コロナ対応ならば、去年にはなかった全校遠足や全校児童が外へ出での持久走大会等を今年実施していることと矛盾があるように感じられます。
- 業間休みと昼休みの外遊びの学年を分けていることは、最初はコロナ対応でした。その後、事故（けが）防止に有効であることが判明し、現在に至っています。
- また、持久走大会・校外学習（林間学校・修学旅行等）などの行事は、「子供たちをがっかりさせない」をモットーに、その時々の感染状況と照らし合わせて、可能な限り通常通りの実施をしてみました。
- そして、「TKBウォーク」（全校徒歩遠足）は、行動・活動制限が今だ多い中、大切な縦割り活動（異学年集団活動）の機会を作る、子供たちがのびのびと遊ぶ、さらに体力の向上を目指すといった目的で実施しました。ご指摘は、これらの行事と比べて、業間休みと昼休みの遊びの状況が、「子供たちをがっかりさせていないか」ということかと存じます。現在は、新型コロナウイルス感染症は第8波の最中との報道もあります。機会を見て、この業間・昼休みの外遊びも、通常どおりに戻す予定です。

①一回しか着ない音楽会の衣装を買うのが不満でした。体型もあると思うので、女子はワンピース。男子はワイシャツにアジャスター付きズボンを学校で用意してほしいと要望します。

→ご指摘のことは、大変よく理解できます。しかし、参加児童全員分の衣装を学校として購入するには、予算的に難しいのが現状です。

公教育であることを基本に考え、来年度は、清楚な私服で参加できるようにしてまいります。

②授業参観は、ご家庭に1人までと書いてあることが多いので、せめて父、母で見られるように2人までとしてほしい。兄弟で通っている子は、クラスに1人ずつまでや、交代で見えてよいとする等の配慮をお願いしたいです。コロナ禍というのは十分に承知していますが、親が子供の学校での生活を見れる貴重な機会ですので、ご検討をお願いします。

→運動会や入学式、卒業式そして授業参観などは、感染症対策という点から、国・県・市からのガイドラインの下、市内の小中学校で共通の認識・実施方法で行っています（小・中で対応が違う場合があります）。

ご指摘の内容は大変よく理解できます。しかし、授業参観で30人の児童の教室に60人の保護者が参観するという状況は、感染症対策という点でNGとなります。

学校としましても、場所が屋内なのか屋外なのか、体育館なのか教室なのか、そのときの感染状況はどうかによって、人数制限を判断しなくてはならない心苦しさがあります。

この新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、通常の参観に戻していく予定です。

現状では、お二人の場合、ご家庭の中で交代で見えていただくことは問題ありません。実際にそのようにされていたご家庭もございました。ご家庭で「二人とも見たい」と思われる場合は、交代でご覧いただけますようお願いいたします。

③昨年行われたTKBウォークではお世話になりました。ウチは高学年なので「疲れたけど楽しかった」と話してくれました。ルート途中の安全確保をお手伝いしておりましたが、帰りのペースは低学年の子ども達には少し早かったのかもしれないと思いました。後ろを確認しながら歩くように気を付けた方がいいかな、と思います。

→「TKBウォーク」の子供たちの感想は、圧倒的に「楽しかった」でした。もちろん「疲れた」という感想も多くあったことは確かです。

まずは、PTAの安全確保のお手伝いに感謝申し上げます。帰りのペースについて、後方確認については、次年度の参考にさせていただきます。

④修学旅行についてですが、部屋で出たゴミを持って帰ってきました。誰が持ち帰ってもいいとの事だったようです。娘が率先して持ち帰ってきた訳ですが、鞆には食べ物も入っていたので、袋の口は結んであったものの他の子のゴミまで子供が管理するには少し不安を感じました。コロナ禍の対応だという事は分かるのですが、せめて、自分で出したゴミは各自で持ち帰るなどの配慮をして頂きたかったです。

→次年度は、ホテルで処分してもらえるようにいたします。

### Ⅲ 施設・設備・安全

①通学路→車がスピードを出して危険な場所があるので、見直してほしい。(一部でもいいのでガードレールかポールをたててほしい)

→継続して市に要望してまいります。

### Ⅳ その他の学校関係

①宿題についてです。原稿用紙の使い方も習わないで作文、何を使って書くか子供が理解していない状態で書き初めなど、上に兄弟姉妹がいる方はいいかもしれませんが、初めて子供が小学校へ入学した保護者は正直連絡帳を見て戸惑います。もう少し考えていただければと思います。

→原稿用紙についてです。低学年(特に1年生)では、マス目のないノート(罫線のみ)に字を書くことはとても難しいことです。そのようなことから、正しい使い方とは別に、一文字一文字をマスに収めて書くために原稿用紙を使ったものと思います。このような場合は、句読点や改行などに間違いがあっても評価の対象とはなりません。しかし、何を使って書くか(鉛筆なのか、鉛筆の濃さは、もしかしたら名前ペンなのか等)をお伝えできていなかったことが原因でお困りになったことは大変申し訳ございませんでした。「連絡帳に明記する」や「子供たちにしっかり伝える」といったことをしてまいります。

なお、今後もしも不明なことがありましたら、学校までお問い合わせいただけますようお願いいたします。

②①宿題に『人権』『歯磨きポスター』『私の好きな町羽生』が出され、毎年子どもが何を描いていいのか悩む。学校で先に指導して欲しい。②休み時間がないと聞く。鼓笛練習、オーディション、送る会の練習、委員会活動など。休みをとった方が集中力も上がるのでは。③学力テストの結果に、県・学校の平均も明記して欲しい。市、学校、個人の何処に問題があるか分からない。④プールに、サンダルやラッシュガードを着用できないか。⑤給食の期間を伸ばして欲しい。

→①学年によって、指導が必要な低学年、ある程度理解できる高学年と対

象によって差はあると思いますが、宿題の趣旨とその参考内容については、今後ある程度の指導をしてから宿題にいたします。

- ②高学年の児童によっては、ご指摘の内容で、休み時間が割かれてしまっていることが確かにあります。リラックスするための休み時間の必要性はご指摘の通りです。今後、必要な休み時間の活動とともに、自由な休み時間の確保をまいります。
- ③現在は、埼玉県でも羽生市でも、学力テストでは「個人の伸び」に着目して評価をしています。目標は、平均より上（他者より上）ではなく、昨年度の自分という考えです。この考えのもと、埼玉県では毎年のできばえを記録して一人一人の追跡調査をしています。そして「昨年の自分との伸び」を確かめるという評価方法となっています。埼玉県全小中学校で実施され、全国のテストもこの流れに追随する傾向にあります。これらのことから、個票の結果につきましては、お子様の昨年度との比較に着目してご覧ください。
- ④プールに、サンダルやラッシュガードの着用は可です。今年も保護者から着用の申し出のあった児童は、着用していました。必要があれば、来年度お申し出ください。
- ⑤給食の期間は、学校では決められません。しかし、多くの保護者の願いが届いているのか、今年度の12月は終業式前日までが給食、1月は始業式の翌日から給食でした。

③連絡帳の記載で、学校へ持ってくる物がある場合、期日の記載を子供にさせて頂けたらと思います。先生からは期日のお話をもしかしたらして頂いているのかもしれませんが、子供が書いてなく、いつまでに用意をすればいいのか分からない場合があります。よろしくお願いします。

→持ち物がいつ必要なのか、いつまでに必要なのかの、お知らせするようにいたします。ただ、担任が伝え忘れたり、子供が書き忘れしたりする場合があります。ご不明の場合は、学校までお問い合わせください。

⑤連絡帳をただ書かせるだけではなく、本人もきちんと内容を理解するよう指導をお願いします。低学年のうち、連絡帳の内容が分からないといった事がよくありました。

→連絡帳は、書かせるだけでなく、学年（特に低学年）によってはていねいな説明が必要です。連絡帳の内容を児童が保護者に説明できることが理想です。今後もそうあるようにまいります。しかし、担任の説明がうまく伝わらなかった、児童がよく聞いていなかった等でご不明な点がある場合は、学校までご連絡ください。

⑥給食の指導について。残飯が多い。完食を促す職員がいると聞きました。完食の指導方法、作る量は適切ですか？

→残さず食べることは理想です。まず、教員のサポートの下、児童による配膳ですので、最初は全員に同じ量を配ります。その後、「減らしたい人は来てください」と担任が言って苦手な食べ物は担任が減らします。その後、「増やしたい人は来てください」となり、増やしたい人は増やします。そして1個1個の物が余った時には、さらに食べられる希望の子で分け合っています。無理な完食を勧める必要はないと考えています。給食の量は、学校ではなく給食センターで決められています。

⑦人権を尊重した指導とは具体的にどのようなものですか。子どもに対する発言や指導方法が、尊重しているとは思えません。

⑧子どもから聞いたことで気になったことがあります。数名の女性の先生の言葉遣いが怖い時があるようです。特に「へたくそ」の言葉は自分だけではなく、お友達が言われているのを聞いた時も嫌な気持ちになるようです。担任の先生は、授業参観や面談、子どもの話から誠実さが伝わってきます。そのような先生が多数だと思いますが、子どもから慕われる先生方が増えると親も安心です。

→人権尊重とは広いカテゴリーがありますが、学校現場では、「いじめの防止」が大きなウェイトを占めます。子供が子供に対して馬鹿にするような言葉づかいを、教員や大人が看過していると、必ず「いじめ」が起こります。そのために、規律やルールがしっかりしているクラス・学校が必要であることが大切です。どの子どもその規律やルールを守ることができることも人権を尊重した指導となります。

そして、教員の言葉は、いつでも肯定的な言葉を使って、褒め称賛する言葉が全てでありたいものです。しかし、注意しなければいけない、叱らなくてはいけない場面も当然あります。そんな中で、なぜ注意されたのか、どうして叱られたのか、該当の児童もまわりの児童も理解できる説明が必要となります。そしてその説明のための教員の言葉づかいはとても大切です。教員の指導や言葉づかいが、子供を傷つけたり、「いじめ」をミスリードすることがないように今後も十分注意してまいります。

また、このご指摘から、教員全員でいじめを助長しない「言葉づかい」、子供を傷つけない「言葉づかい」について、点検をしたいと思えます。今後もお子様から、「ちょっとどうなんだろう」と思う教員の言葉や指導が見当たりましたときには、学校までお問い合わせください。

- ⑨見当違いなら申し訳ないが、このアンケートの方式だと「誰が何を書いたか」学校には知られてしまうのか？と、正直なところを意見しにくい場合がある。  
→本校では、いただいたご意見やご提案に責任ある回答をするため、記名式とさせていただきます。今回のこの「まとめ」も、全てのご意見に対してお答えしています。何卒ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。
- ⑩いつも子どもたちのためにご指導いただきありがとうございます。朝の立哨当番の時、挨拶ができない子が多いように感じます。校内では子どもたちは先生方に挨拶ができています。校外でもせめて見守り隊の方や旗当番をしている保護者には挨拶ができてほしいと感じました。防犯の面から他の人への挨拶は難しいかもしれませんが、先生方からも挨拶についてご指導いただければさらに良くなると思います。書かせていただきました。  
→親子や家族、よく知っている教職員などとあいさつすることと、知らない保護者や見守り隊の方へあいさつすることでは、児童にとってはハードルの高さに違いがあることでしょう。しかし、ご指摘の通り、自分たちがお世話になっている地域の方へは、しっかりとあいさつができる子になってほしいものです。今までにも指導はしているのですが、このことへの指導は継続してまいります。
- ⑪職員が朝早くから出勤されている。登校時間が学校開始時間に比べ早すぎないか。登校時間を変えたら負担が軽減されないか。  
→登校時間が早すぎるというご指摘は、本校だけでなく市内全小学校でも検討されています。本校でも来年度に向けて登校時刻について検討しております。  
学校が行うコロナ感染予防対策、子ども達への対応は、実際を見ていないから分からない。子どもの考えることと保護者目線では違うと思う。保護者が思うアンケートによる意見だけでなく子どもにもアンケートも実施し意見や結果を知りたい。  
→ご指摘の通り、児童へのコロナ対策のアンケートは実施していません。子供たちの気持ちを吸い上げる方法を考えてまいります。

## V PTA・交通安全母の会

- ①PTA 役員のカジ引きについてですが、前年度役員をやっていない人の中から選ぶようにしてもらいたいです。今のやり方では連続して当たる場合もあるので平等ではないと思います。決め方をご考慮ください。  
→PTA では学年役員を務めて頂いたご家庭を全て記録しており、お子様一人につき一回（一年間）引き受けて頂いております。  
在学中のお子様二人以上いる場合は二年連続で当たる可能性はありま

すが、役員を務めて頂くという点においては各家庭平等であると認識をしております。

ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

- ②今年交通安全母の会、一昨年はPTA成人保健部に実際に選出されてみて根本的な変化が必要な段階に来ているのかと思います。ランダムにクジで選出された、あくまで保護者ボランティアの方の組織で、必ずしもリーダーシップや運営に心得のある方ばかりではないのも仕方ありませんが、只々これまでの活動の引き継ぎではなく、時代の流れを組み込んだマイナーチェンジが必要かと思います。

→新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ここ3年間でPTA事業の見直しを図りました。

「本当に必要な事業なのか」を今一度検証し、必要な事業に対しては効果を減らす事なく如何に効率良く進めていけるかを意識し実行しております。

LINEを用いて資料の確認・共有する事で会議の回数や所要時間を減らすなど、かつてに比べれば理事・役員個々の負担は大きく軽減されております。

また、どのような方が役員になって頂いても事業が滞りなく進行できる様な資料やマニュアルを用意しておりますが、今後も前年度を踏襲するのではなく、年度毎に事業をしっかり検証し、時代に即した形にブラッシュアップし続けていく事が必要であると考えております。

- ③PTAは任意加入にし、内容も時代に則したものにしていけるべきではないでしょうか。必ず1度はやらないといけないというのは強制なのでどうかと思います。今は両親共に仕事をしている家庭が多いです。旗当番も外部に委託するなどした方が良いかと。小さい子供を背負ったり手を繋ぎながらの旗当番は危険で本末転倒です。子供を預けるなど両親の手を借りられない家庭もあります。

→前述の通り、事業の必要性を含め時代に即した形へ移行する事を意識して日々活動を続けております。

しかし、任意加入にする事も含め、早急にPTAを変えていく事は現状困難であると考えております。

一つは予算の問題であり、各家庭からご協力頂いているPTA会費や資源回収の収益から、子供達が学校生活の中で使用する備品や教材の一部を捻出しております。

PTAを任意加入とし、万が一会費収入が極端に減ってしまった場合、これまで当たり前の様に行ってきた学習や学校行事が行えなくなる可能性もございます。

もう一つの問題は、保護者が学校に関わる機会と関心が薄れてしまう点で

す。

今や共働きの家庭が当たり前なのは重々承知しており、現 PTA 理事も仕事や家事育児の合間を縫って活動しています。

ご家庭の状況によって PTA 活動に参加するのが困難な方もいらっしゃいますが、決して無理をしない事を心掛けて頂いております。

それでも PTA に所属する事で、子供達の学校生活を支えている事を実感し、自分の大切な子供達が通っている手子林小学校に対して関心を持つ事ができると考えております。

旗当番は子供達の安心安全の為に必要不可欠な交通安全母の会の事業であり、朝のお忙しい時間帯、各ご家庭様々なご事情がある中で保護者の皆様に御協力頂いております。

保護者の皆様が交差点や危険個所に立っているだけで、ドライバーへの注意喚起になり、子供達が安全に通学できております。

家庭の事情で、どうしても難しい場合などありましたら、一度母の会役員にご相談して頂ければ幸いです。

今後は、子供達の安全を確保しつつ、家庭の負担が少しでも減らせる様に検討して参ります。

旗当番の外部委託は予算面でも現状困難ではありますが、見守り隊の皆様に子供達の登下校を見守って頂いております。

見守り隊の皆様は無償で、どんなに悪天候でも毎日欠かさずことなく、子供達の登下校を見守ってくださっております。

子供達が朝家を出て学校に行き、午後には元気に家に帰ってくる。

この当たり前の毎日は、旗当番に協力頂いている保護者と見守り隊の皆様によってもたらされているものです。

PTA も交通安全母の会も見守り隊も、その活動・存在意義は全て「子供達のため」です。

引き続きご協力を頂ける事を切にお願い申し上げます。

## VI その他（励みになるご意見ありがとうございました）

①学校生活の中で、本人が感じた事（大変な事や嫌な事、楽しかった事、やり遂げた事等）などを確認する機会を増やしていけるよう配慮していきたいと思っております。いつも、お世話になり感謝しております。今後も引き続きよろしく願い致します。

②いつもお世話になっております。いつもよくみてくださっているので、大変感謝しております。引き続き、どうぞよろしく願い致します。

③いつもお世話になっております。普段より、よくみて下さり、感謝しております。



す。今後ともよろしくお願い致します。

- ④いつもご配慮いただき、ありがとうございます。担任の先生は勿論ですが、貴校の教育に関する体制や姿勢は非常に素晴らしいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。
- ⑤お忙しい中、放課後等個別の対応もしてくださり、いつも大変お世話になっております。ありがとうございます。
- ⑥困った事や悩みがある時に先生に相談出来ているようなので、よかったなと思っています。
- ⑦大変お世話になっております。本人に合った授業と個別の対応をして頂き、いつも本当にありがとうございます。先生方は遅い時間までいつも働いているのではないかと心配になりますので、何も無いときは早退なり、有給なりを使ってきちんと休みはとって下さいね。
- ⑧四年生くらいから担任の先生、クラスメイトに恵まれたことからか、学校生活がすごく安定しているとてきたと感じており、担任の先生だけでなく主任の先生や校長先生との関わりも家で話題になることから、とても良い環境の小学校生活を送れていると思っています。ありがとうございます。残りわずかですが引き続きよろしくお願い致します。
- ⑨お世話になっております。  
学校という場が、勉強のみを学ぶ場ではなく、先生を信頼して過ごすことができ、そのなかで、心の育ちを大切にできる場所であってくれたらと願います。
- ⑩いつも子供たちの事を細かく見てくださりありがとうございます。おかげさまで娘も学校生活を楽しく過ごしており、先生の事が大好きです。今後ともよろしくお願い致します。
- ⑪いつも子供たちの事を細かく見てくださりありがとうございます。とてもやんちゃな息子でご迷惑をおかけする事が多々あるかと思いますが、今後とも宜しくお願い致します。
- ⑫クラスレクがあったり先生が休み時間に一緒に遊んでくれたりするので学校が楽しいと言っています。  
グループ決めや席替えなど子供たちが話し合って決めているようで、先生は私たちに任せてくれるから嬉しいと言っていました。その他、書ききれませんが、クラスが大好きで、ずっと同じクラスがいいと言っているのです。先生には大変

感謝しています。いつもご指導ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

- ⑬最高学年としての1年間、先生方やお友達のおかげで充実した日々を過ごしております。子供達の活躍の場を設けて頂き、感謝しております。向上心を高く持ち、自己肯定感を高めながら過ごせた小学校生活は娘の今後の糧になると思います。娘の良い所を沢山見つけて、小さな事でもきちんと認めて褒めてくださる担任の先生のおかげでこの1年娘の顔は希望と自信に満ち溢れています。